

CSR活動

1 スポーツを通じて日本を元気に

◆ノジマステラ神奈川相模原(女子サッカー なでしこリーグ)

2016年になでしこリーグ2部で優勝し、神奈川県内初のなでしこリーグ入りを果たした、日本で唯一の女子サッカー実業団です。一昨年は第39回皇后杯全日本選手権大会で初の準優勝、昨年はなでしこリーグ3位のチーム最高成績を収めました。

選手は店舗で社員として勤務をしながら、地域イベントの参加、募金活動等、地域・社会への貢献も行っております。

また、各地でのサッカー教室の開催や小学校への巡回教室により神奈川県的女子サッカーの裾野を広げるための取り組みも継続して行っております。



◆ノジマチャンピオンカップ箱根シニアプロゴルフトーナメント

2015年に発生した箱根山火山活動により観光客減などの影響があったことを受け【箱根町を元気に!】をコンセプトに開催された大会も今年で第4回目となりました。

今年も、日本プロゴルフ協会(PGA)や名門「箱根カントリー倶楽部」の協力をいただき、ツアー2戦目として実施されました。

また、今年は日本初のゴルフ4K放送ということもあり各方面で話題を呼びました。



◆横浜DeNAベイスターズ(プロ野球)

2008年より、公式ユニフォームスポンサーとして地元球団を応援しております。本拠地の横浜スタジアムで年間、4〜5試合の公式戦を「デジタル1番星DAY」として応援したり、オリジナル商品として「ベイスターズ家電」の開発・販売など、様々な取り組みを球団と共に行っております。



◆ノジマ相模原ライズ(アメリカンフットボール)

アメリカンフットボールXリーグ1部に所属する「ノジマ相模原ライズ」をスポンサーとして支援しています。

相模原市内を中心に、地域清掃活動やイベントの参加、小学校でのあいさつ運動等を積極的に取り組んでおります。選手の中には、当社従業員として活躍している選手もおります。



◆ノジマT.LEAGUE(卓球)

2018年に開幕した卓球Tリーグのタイトルパートナーとして締結いたしました。現在卓球は、多くの日本人選手の活躍もあり、国内のみならず世界から大きな注目を集めています。Tリーグの掲げる「世界No.1の卓球リーグを実現する」という目的や「卓球を通じて人生を豊かに」という理念に共感し、卓球の発展に尽くし、2020年の東京オリンピックを控え、より一層スポーツを通じての社会貢献に尽力してまいります。



2 エコ振興基金

1985年より、社会貢献活動の一環として出店している地域の自治体へ、毎年省エネ製品を寄付しております。

2018年度は総額5,400万円を寄付させていただきました。2019年度は総額5,800万円を寄付させていただく予定です。

今後も、継続的に地域の皆さまに愛される企業を目指してまいります。

寄贈実施年度	寄贈物品	寄贈額	寄贈先自治体数
2018年度	4Kテレビ(49インチ/55インチ)/蓄電池/翻訳機	5,400万円	108
2017年度	防災セット/ポケットラジオ/ロボットクリーナー/LEDデスクライト等	5,100万円	100
2016年度	電池(単三、単四)/Hクッキングヒーター/コンベクションオープン/43インチテレビモニター/洗濯機/ダンスステーション	4,200万円	99
2015年度	LEDデスクライト/LEDシーリングライト/USBポート付ACチャージャー/シンプル電話機	2,300万円	84
2014年度	LEDモニターテレビ(19インチ)	3,000万円	82
2013年度	ポータブルAC電源/コンパクトソーラーライト	1,400万円	85
2012年度	扇風機/LED電球	2,782万円	83
2011年度	コンパクトソーラーライト/LED電球	4,068万円	76
2010年度	電動スクーター/LED電球/電球型蛍光灯	2,300万円	67
2009年度	電動スクーター/LED電球/電球型蛍光灯	1,440万円	55

3 神奈川県警と連携!振り込め詐欺対策会を実施

神奈川県警察と連携し、神奈川県内のノジマ20店舗にて振り込め詐欺対策会を実施いたしました。

対策会では、年々増加する振り込め詐欺被害の手口や地域実態について県警よりご説明いただき、実際に店頭にある電話機を使用して、振り込め詐欺撃退の5つの対策を実施しました。録音機能や転送機能などを搭載した、迷惑電話防止機能付き電話機の説明から使用方法まで詳しくご案内を行い、実際に体験していただくことで被害の未然防止に繋げてまいります。

ノジマは、今後も事業展開させていただいている地域とともに歩み、各地域の警察署や自治体と協力しながら、安全で安心して暮らせる地域社会作りに貢献してまいります。



4 教職員向けにプログラミング授業体験会を実施

2020年から始まるプログラミング教育必修化を受け、「教職員向けプログラミング授業体験会」を開催しております。

当社は、2018年より小学生向けプログラミング教室を開講し、子供たちにプログラミングを教える等、県内の小学校と協力しプログラミング教育の普及に努めてまいりました。

今回の取り組みは、プログラミング教育必修化を目前に控えた教職員の皆様が、プログラミングに対して抱えている不安を解消し、安心して子供たちに教えることができるようになることを目的としております。プログラミングが初めての方でも安心して参加できる内容の講座で実施しております。

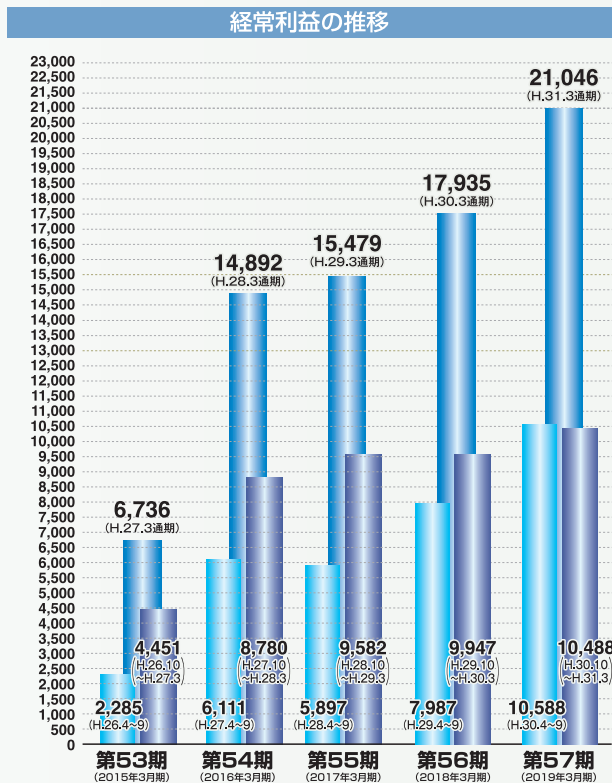
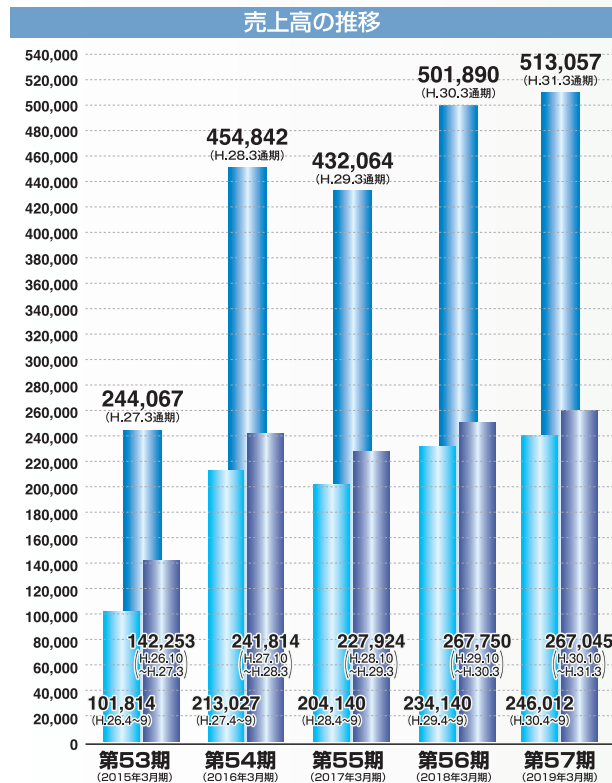
小学校における、プログラミング教育のねらいを実現するためのカリキュラム・マネジメント例を体験していただくことで、実務に役立つものと考えております。



財務ハイライト

連結

■ 売上高／5,130億57百万円 ■ 経常利益／210億46百万円 ■ 純利益／146億80百万円 (単位:百万円、単位未満切り捨て)



(単位:百万円、単位未満切り捨て)

連結	第53期 2015年3月期	第54期 2016年3月期	第55期 2017年3月期	第56期 2018年3月期	第57期 2019年3月期
売上高	244,067	454,842	432,064	501,890	513,057
経常利益	6,736	14,892	15,479	17,935	21,046
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,578	13,226	10,158	13,634	14,680
1株当たり当期純利益(円)	75.61	276.59	208.28	275.42	294.09
総資産額	236,104	233,434	245,467	259,756	307,735
純資産額	34,357	46,844	56,855	69,019	81,608
自己資本比率	14.3%	20.0%	23.0%	26.2%	25.9%

2015年7月1日付けで普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。そのため、第52期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算出しております。

決算の概況

連結

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

連結貸借対照表

	第56期	第57期
資産の部		
流動資産合計	120,259	163,169
固定資産合計	139,496	144,565
資産合計	259,756	307,735
負債の部		
流動負債合計	96,515	115,849
固定負債合計	94,221	110,278
負債合計	190,737	226,127
純資産の部		
資本金	6,158	6,330
剰余金その他	62,931	75,979
自己株式	▲1,400	▲2,448
株主資本合計	67,690	79,861
その他の包括利益累計額合計	506	▲102
新株予約権	786	1,453
非支配株主持分	36	396
純資産合計	69,019	81,608
負債純資産合計	259,756	307,735

第57期は2019年3月31日現在。第56期は2018年3月31日現在。

連結損益計算書

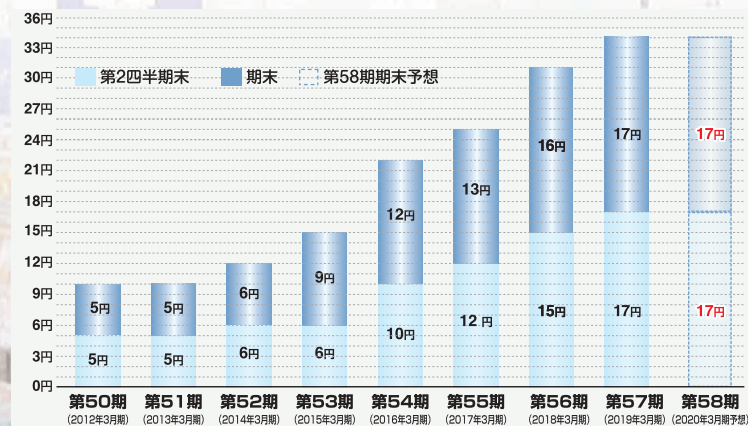
	第56期	第57期
売上高	501,890	513,057
売上総利益	118,071	128,721
営業利益	17,044	19,212
経常利益	17,935	21,046
税金等調整前当期純利益	17,956	21,106
当期純利益	13,634	14,683
非支配株主に帰属する当期純利益(▲は損失)	▲0	2
親会社株主に帰属する当期純利益	13,634	14,680

連結キャッシュ・フロー計算書

	第56期	第57期
キャッシュ・フロー		
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,582	28,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,718	▲12,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲19,075	▲6,152
現金及び現金同等物の期首残高	6,275	10,963
現金及び現金同等物の期末残高	10,963	20,733

第57期は2018年4月1日から2019年3月31日まで。
第56期は2017年4月1日から2018年3月31日まで。

配当金の推移



2015年7月に株式分割(1株を2株)。第53期以前は、株式分割後に換算して表示

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保を勘案し、継続して安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

また、当社は、中間と期末の年2回の剰余金の配当を行うことも基本方針としております。なお、剰余金の配当の決定機関は取締役会です。

第58期の配当予想は中間17円・期末17円の計34円としております。